

「公共事業コスト構造改善プログラム」

【施策名：Ⅱ 計画・設計・施工の最適化【3】 民間技術の積極的な活用 施策12

恒久集排水ボーリング保孔管の採用によりライフサイクルコスト改善

事業名：譲原地すべり対策事業

概要：(従来) 塩ビ管 ⇒ (新) 恒久集排水ボーリング保孔管

効果

①恒久集排水ボーリング保孔管（高耐食溶融メッキ（ZAM））の採用で、材料の耐用年数が格段にアップしたことから、ライフサイクルコストを改善することができる。

②ライフサイクルコストの改善額

4百万円/年から1百万円/年に改善(改善額3百万円、改善率 約75%)

材料の耐用年数

従来工法
塩ビ管
約20年

新工法
恒久集排水ボーリング保孔管
約80年

